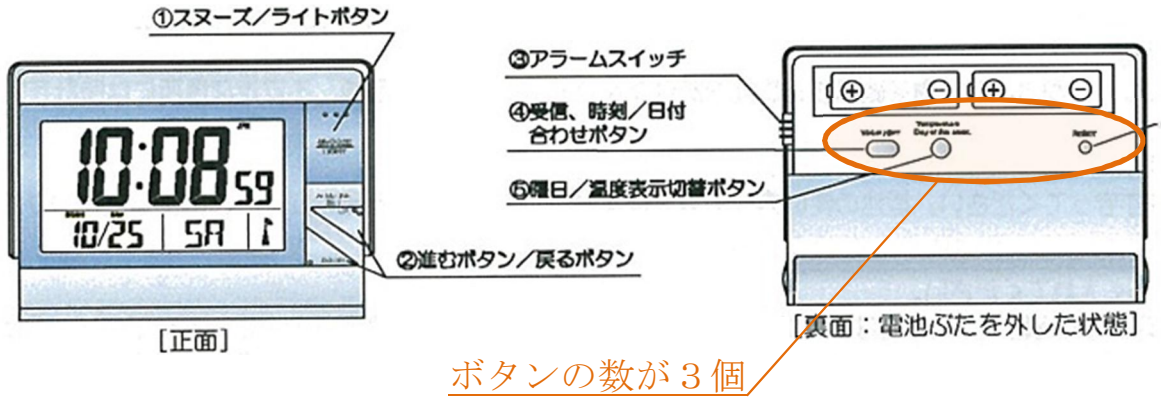
取扱説明書ご参照上のご注意

＊こちらの商品は、製品裏側の形状によって

ご参照いただく取扱説明書が異なります。

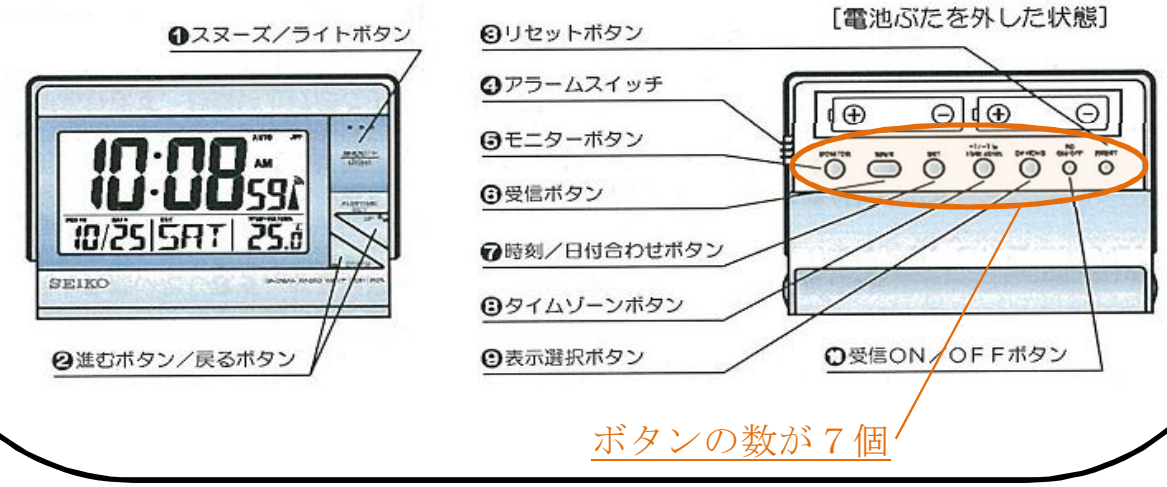
■形状Ａ：時計の形状が下図の場合

⇒２~４ページのＦＳＱ－１２０を参照ください



■形状Ｂ：時計形状が下図の場合

⇒５~６ページのＦＳＱ－０６１を参照ください



目ざまし時計
取扱説明書
電波クロック

お買い上げありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。
（例：ＡＭ○○○、ＰＷ○○○、ＫＲ○○○など）

フリーダイヤル
お客様相談室　0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp

発売元
セイコークロック株式会社

説明書番号　**FSQ-120P**

製品の特長

- 世界４ケ国の電波（日本４０kHz／６０kHz、アメリカ、ドイツ、イギリス）を受信できる電波修正機能つき目ざまし時計。
- アラームを一度止めても約５分後に再び鳴り出すスヌーズ機能。
- アラームは４段階に変化する電子音。
- カレンダー表示、温度⇔曜日表示の切替付き。

※ 電波を受信できない場合でも、クオーツ時計としてお使いいただけます。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。
標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■ご注意

- ●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- ●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ●ビルの中、ビルの谷間、地下。
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- ●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
- ●工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- ●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- ●その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- ●スチール机等の金属製の家具の上や近く。

各国の標準電波について

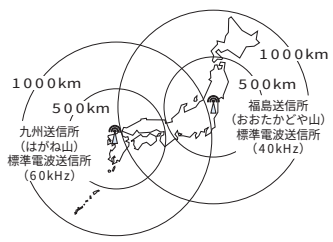
■各国の標準電波について

受信可能な各国の標準電波は右の表の通りです。

国名	受信電波／周波数	標準電波送信所
日本	ＪＪＹ／４０kHz	福島送信所（おおたかどや山）
	ＪＪＹ／６０kHz	九州送信所（はがね山）
アメリカ	ＷＷＶＢ／６０kHz	コロラド州フォートコリンズ
ドイツ	ＤＣＦ／７７.５kHz	マインフリンゲン(フランクフルト南東)
イギリス	ＭＳＦ／６０kHz	カンブリア州アンソーン

■日本の標準電波について

- ●情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヶ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
- ●標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西２ヶ所）からおおむね１０００km～１２００kmの範囲です。この製品は４０kHz（東･福島送信所）、６０kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- ●日本の標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様相談室にお問い合わせください。
（ホームページアドレス　http://www.seiko-clock.co.jp）

保証・アフターサービス

- ●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
- ●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- ●保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ●この時計の修理用部品は３年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- ●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- ●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただきます。
修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- ●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

必ずお守りください。安全上のご注意

⚠ 警　告

＜アルカリ電池について＞

(1)ショート、充電、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

＜梱包用ポリ袋について＞

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注　意

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

＜電池について＞

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1)㊉㊀を正しく入れてください。
(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
(3)充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
(7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

＜液晶パネルについて＞

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
(1)皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
(2)目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低１５分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
(3)飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

必ずお読みになってからご使用ください。使用場所・お手入れ

＜使用場所について＞

下記のような場所では使わないでください。
製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

- ●温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。
- ●温度が＋50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- ●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- ●強い磁気や振動がある場所。不安定な所。
- ●電波ノイズを発生させるものの近く。
- ●工場、台所などの多くの油を使用する所に使用しないでください。
- ●塵、埃の多い所。
- ●ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

＜お手入れについて＞

- ●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- ●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。
- ●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

＜液晶パネルについて＞

- ●見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- ●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- ●温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- ●つぎの場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
  - ・乾いた布などで拭いたとき
  - ・指などで液晶パネルを押したとき

<温度表示について>

- ●センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
- ●温度が以下の状態になったときの表示
  - ・温度　－10℃より低い　：「LO」　＋60℃より高い　：「HI」

故障かなと思ったときは

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
表示が出ない	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・電池が正しい向きで入っていない。 ・きちんとリセットされていない。	・電池を正しく入れ直して、確実に「リセットボタン」を押してください。
表示が欠けている	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・きちんとリセットされていない。 ・静電気等による誤動作。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信に成功していない。	・裏面「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	・きちんとリセットされていない。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
アラームの音が鳴らない	・アラームスイッチが**OFF**になっている。	・「アラームスイッチ」を**ON**にしてください。
	・静電気による誤作動。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。

製品仕様　（改良のため予告なく変更する場合があります。）

- ●時　間　精　度　：平均月差±３０秒（気温５℃から３５℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
- ●表　示　精　度　：±１秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
- ●使 用 温 度 範 囲：－１０℃～＋５０℃　ただし、表示判読可能温度範囲　０℃～＋４０℃
- ●ア　ラ　ー　ム　：電子音、約１分間オートストップ、約5分間スヌーズ
（スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
- ●カ レ ン ダ ー　：２０００年１月１日～２０９９年１２月３１日のフルオートカレンダー
月末、うるう年とも修正不要。
- ●温 度 測 定 範 囲：０℃～＋４０℃（測定範囲内での精度±２℃）
- ●表　　示　：日付（月／日）、曜日（周囲温度℃）、12時間制（午後のみPM表示）または24時間制表示
- ●使　用　電　池　：単４アルカリ乾電池（ＪＩＳ規格LR０３）２個
- ●電　池　寿　命　：約１年（アラームを１日３０秒間使用した場合）
- ●電池切れ予告機能：電池交換マークが点滅して、電池交換時期をお知らせします。
- ●電 波 受 信 機 能：自動受信（６回／日）。次回の受信までクオーツの精度で動いています。
手動受信
- ●受信電波、周波数：日本　－　ＪＪＹ　４０kHz／６０kHz　　アメリカ　－　ＷＷＶＢ　６０kHz
ドイツ　－　ＤＣＦ　７７.５kHz　　イギリス　－　ＭＳＦ　６０kHz

ご使用方法 ▶ （時計により外観が異なりますが、操作は同じです。）

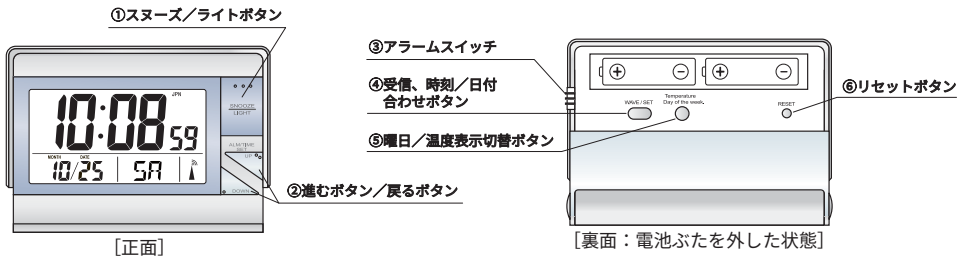
■付属品 ご使用の前にご確認ください。

●単４アルカリ乾電池　2個　●取扱説明書（本書）　1枚　●保証書　1枚
●アメリカでのご使用について　1枚

■はじめに

本紙の安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みの上、ご使用ください。
製品によって、表示部に透明シールが貼ってあります。シールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。
（このとき静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。）

■各部の名称



［正面］　［裏面：電池ぶたを外した状態］

①スヌーズ／ライトボタン
・アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が働き、約5分後に再びアラームが鳴ります。
・押すとライトが点灯します。

②進むボタン(+)／戻るボタン(−)
・アラーム時刻または手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。

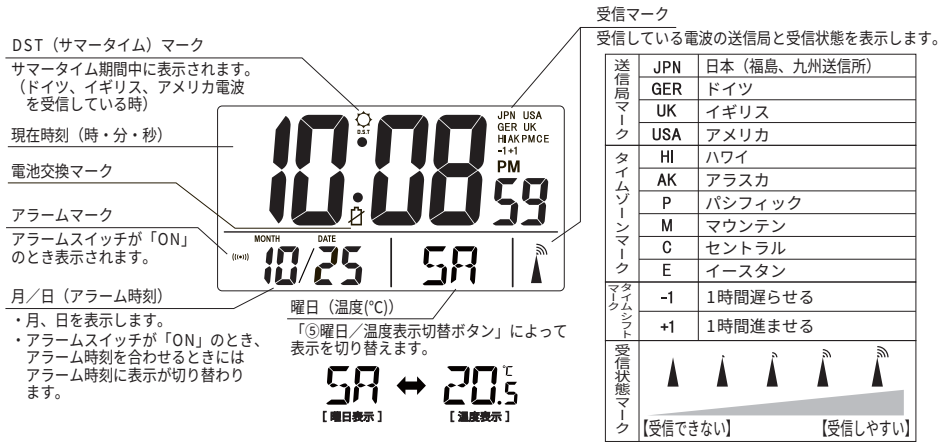
③アラームスイッチ
・アラームON／OFFを切り替えます。

④受信、時刻／日付合わせボタン(WAVE/SET)
・[通常表示]のときに押すと標準電波の受信を開始します。
・送信局を選択するときに使用します。
・手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
（2秒以上押し続けてください。）

⑤曜日／温度表示切替ボタン(Temperature Day of the week)
・曜日⇔温度（℃）表示に切り替えます。

⑥リセットボタン(RESET)
・電池交換後は先端の細いもので必ず押してください。

■液晶表示 （図の液晶表示状態は機能の説明用のため、実際の使用状態とは異なります。）

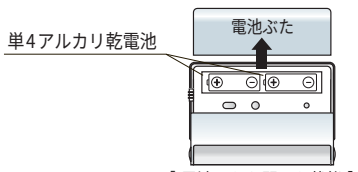


送信局マーク	JPN	日本（福島、九州送信所）
	GER	ドイツ
	UK	イギリス
	USA	アメリカ
タイムゾーンマーク	HI	ハワイ
	AK	アラスカ
	P	パシフィック
	M	マウンテン
	C	セントラル
	E	イースタン
タイムシフトマーク	-1	1時間遅らせる
	+1	1時間進ませる
受信状態マーク	【受信できない】	【受信しやすい】

■ご使用方法

1．電池を入れてください（単４アルカリ乾電池　2個）

裏面の電池ぶたを開けて、電池を入れてください。
⊕⊖をまちがえないように注意してください。



［電池ぶたを開けた状態］

2．「⑥リセットボタン」を先端の細いもので押してください

表示が全てついた後、時刻「12：00（午前）」となり、標準電波の受信を開始します。
注）電池交換後は、必ず「⑥リセットボタン」を押してください。

（海外でご使用になる場合）

3．「④受信、時刻／日付合わせボタン」を押して送信局を選択してください

日本の標準電波以外に、ドイツ、イギリス、アメリカの標準電波を受信することができます。
送信局を選択すると、その電波のみを受信します。
●「④受信、時刻／日付合わせボタン」を押すたびに下記のように表示が切り替わります。
日本：JPN →ドイツ：GER →イギリス：UK →アメリカ：USA
※リセット後（初期設定）は日本に設定されています。
※選択した送信局は自動で元に戻りません。海外から帰国した場合など、ご使用になる国に合わせて送信局を選択し直してください。

4．時計を設置してください

本機を使用したい場所に置いてください。
（窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。）
●受信中は、受信マーク（ ：受信状態マーク、JPNなど：送信局マーク）が表示され、受信状態に応じて変化します。
●受信に要する時間は最長約１２分間です。

［受信成功］
受信マーク 、送信局マークJPNなどが表示され、［月／日］［曜日］［時：分］［秒］が正しい日付と時刻に修正されます。
●受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

［受信に成功した場合］

［受信できない］
受信マークの一部 、送信局マークJPNなどは表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
●使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。

［受信できなかった場合］

5．アラームを鳴らすには

(1)「②進むボタン／戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
●「②進むボタン／戻るボタン」を押すと、アラーム時刻が点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。
●アラーム時刻合わせの状態で「②進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
●約4秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定します。
(2)「③アラームスイッチ」を**ON**にしてください。
アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
●アラームマーク (((•))) が表示されます。
注）アラームが鳴り始めると、ライトが約4秒間点灯します。

［アラームスイッチがONの状態］

6．アラームを止めるには

アラームを止めるには２通りの方法があります。

【アラームを完全に止める】
「③アラームスイッチ」を**ＯＦＦ**にして止めます。
●アラームマーク (((•))) が消えます。

【約５分後に再度アラームを鳴らす（スヌーズ機能）】
「①スヌーズ／ライトボタン」を押すとアラームが止まり、約５分後に再び鳴り出します。
●スヌーズ中はアラームマーク (((•))) が点滅します。
●スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。
アラームは約１分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）
この場合、アラームマーク (((•))) は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

その他の機能 ▶

■自動受信について

毎日６回、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波を受信できなかった場合

1．電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる

「④受信、時刻／日付合わせボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
●受信状態については、左記「■ご使用方法」をご覧ください。
●うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。
ご使用中に受信マーク（ ：受信マークの一部、JPN など：送信局マーク）が表示されない場合は、使用場所の良くないことが考えられます。
●詳しくは裏面（電波クロックについて）をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2．手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。
(1)「④受信、時刻／日付合わせボタン」を２秒以上押し続けてください。
(2)「④受信、時刻／日付合わせボタン」を押すごとに、下図の様に順に表示が点滅します。
(3)「②進むボタン／戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
●「②進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
●約５分以上「②進むボタン／戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に［通常表示］に切り替わります。

＜時刻表示＞

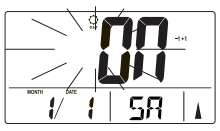
［通常表示］
普段はこの表示でお使いください。

［年合わせ表示］
「②進むボタン／戻るボタン」で年を合わせてください。
年は２０００年～２０９９年まで合わせられます。
曜日は自動的に合わせます。

［月／日 合わせ表示］
「②進むボタン／戻るボタン」で日付を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。

［月／日 ⇔ 日／月 表示切替］
「②進むボタン／戻るボタン」で月日の表示順を切り替えてください。

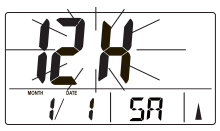
［時刻 合わせ表示］
「②進むボタン／戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「②進むボタン／戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は０秒にリセットされます。



［時刻の＋１／－１ 時間調整］
表示時刻を１時間進めて表示（+1）または遅らせて表示（-1）することができます。
「②進むボタン」で切り替えてください。
調整をしない場合は（-1+1）表示を選択してください。

■時刻をずらして使う【タイムシフト機能】
日本の電波を受信して、中国沿岸部、台湾などで使用する場合（1時間遅らせる）に便利です。
-1：1時間遅らせる　+1：1時間進ませる　-1+1：標準時に合わせる
※アメリカの送信局を選択している場合、この機能はご使用できません。

［曜日表示の言語切替］
「②進むボタン／戻るボタン」で曜日を表示する言語を選択してください。（英語 EN、ドイツ語 DE、フランス語 FR、イタリア語 IT、スペイン語 ES、オランダ語 NE の順番で切り替わります。）



［１２／２４時間制選択表示］
「②進むボタン／戻るボタン」で１２時間制または２４時間制を選んでください。

(4)12／24時間制選択が終了しましたら、「④受信、時刻/日付合わせボタン」を押して［通常表示］に切り替えてください。

■ライトについて

「①スヌーズ／ライトボタン」を押すとライトが約４秒間点灯します。

■電池切れ予告機能について

この時計には電池切れ予告機能がついています。
電池の残量が少なくなると、電池交換マーク が点滅し、電池交換時期がきたことをお知らせします。
新しい電池にすべて交換してください。

■ご注意

●この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。「⑥リセットボタン」を押してください。
●「⑥リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
●この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
●電池交換後は、必ず「⑥リセットボタン」を押してください。

アメリカでのご使用について

■タイムゾーン、サマータイムのON／OFF切替

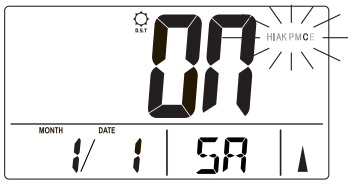
アメリカの送信局を選択している場合、タイムゾーンを切り替えたり、サマータイムを解除することができます。

（1）アメリカ標準電波を受信していることをご確認ください。過去２４時間以内に受信成功している場合には USA マークが表示されます。
USA マークが消えている場合には「④受信、時刻／日付合わせボタン」を押して USA マークを点滅させ、アメリカ標準電波を受信していることを確認してください。

（2）「④受信、時刻／日付合わせボタン」を約２秒以上押し続けてください。

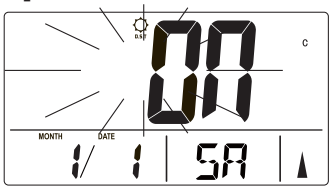
（3）「④受信、時刻／日付合わせボタン」を４回押して下記の通り設定を行ってください。

[タイムゾーン切替]



「②進むボタン」でタイムゾーンを選択してください。
（C➡M➡P➡AK➡HI➡Eの順番で切り替わります。）

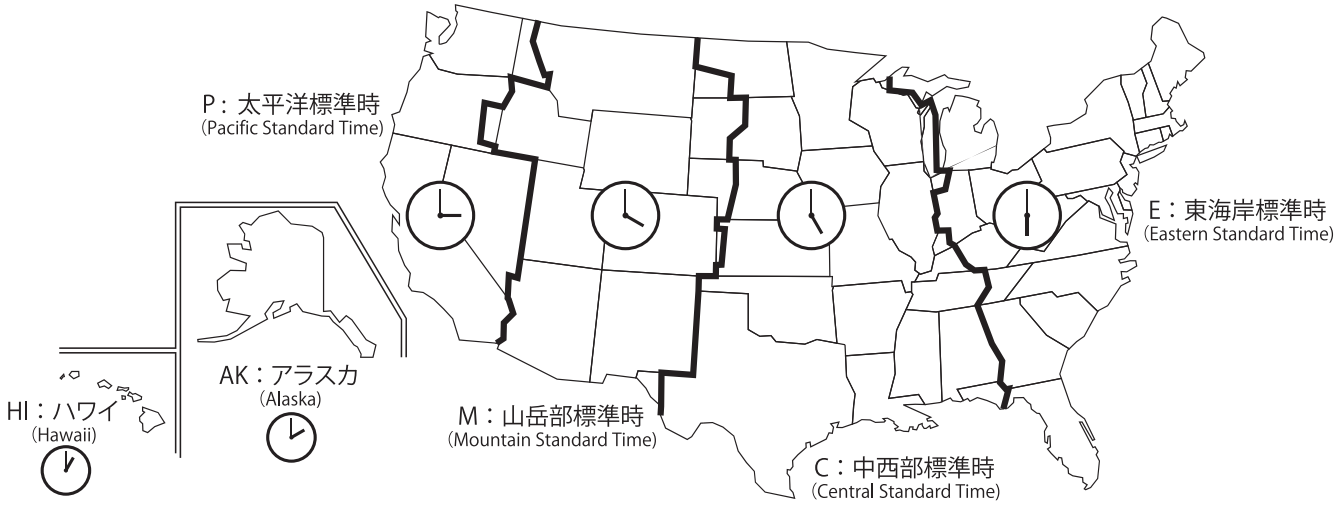
[サマータイムON／OFF切替]



「②戻るボタン」でON／OFFを切り替えてください。

C：セントラル（0）、M：マウンテン（-1）、P：パシフィック（−2）
AK：アラスカ（−3）、HI：ハワイ（−4）、E：イースタン（＋1）

※ハワイ、アリゾナ、インディアナの３州（の一部）ではサマータイム（DST−Daylight Saving Time)を実施していません。該当地域でご使用の場合にご利用ください。



（4）「④受信、時刻／日付合わせボタン」を３回押して[通常表示]に切り替えてください。

SEIKO

目ざまし時計
取扱説明書
電波クロック

お買い上げありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。
（例：AMOOO、PWOOO、KGOOOなど）

フリーダイヤル
お客様センター　0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp
発売元
セイコークロック株式会社

説明書番号　FSQ-061K

製品の特長

- 世界４ヶ国の電波（日本４０kHz／６０kHz、アメリカ、ドイツ、イギリス）を自動で受信して現在時刻を表示する、電波修正機能付き。
- アラームを一度止めても約５分後に再び鳴り出すスヌーズ機能付き。
- ４段階にアラーム音が変化します。
- 温度表示付き。
- 電波を受信できない場合でも、クオーツ時計としてお使いいただけます。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。 標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■ご注意

- ●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- ●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ●ビルの中、ビルの谷間、地下。
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- ●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
- ●工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- ●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- ●その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- ●スチール机等の金属製の家具の上や近く。

各国の標準電波について

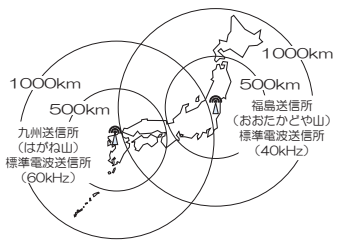
■各国の標準電波について

受信可能な各国の標準電波は右の表の通りです。

国名	受信電波／周波数	標準電波送信所
日本	ＪＪＹ／４０kHz	福島送信所（おおたかどや山）
	ＪＪＹ／６０kHz	九州送信所（はがね山）
アメリカ	WWVB／６０kHz	コロラド
ドイツ	DCF／７７.５kHz	フランクフルト
イギリス	MSF／６０kHz	ラグビー

■日本の標準電波について

- ●情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヶ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。
- ●標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西２ヶ所）からおおむね１０００km～１２００kmの範囲です。この製品は４０kHz（東・福島送信所）、６０kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- ●日本の標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。
（ホームページアドレス　http://www.seiko-clock.co.jp）

保証・アフターサービス

- ●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
- ●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- ●保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ●この時計の修理部品は３年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- ●修理のとき、部品･その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- ●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただきます。
修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- ●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

電池について

⚠ 警　告

<アルカリ電池について>

(1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
(2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注　意

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1) ⊕⊖ を正しく入れてください。
(2) 電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
(3) この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
(4) 電池に直接ハンダ付けしないでください。
(5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
(6) 時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
(7) 時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所

つぎのような所では、使わないでください。

- ●温度が－１０℃（氷点下１０度）以下になる所。
- ●温度が＋５０℃（５０度）以上になる所や直射日光が当たる所。

例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。

- ●浴室など湿気の多い所。
- ●強い磁気や振動がある所。
- ●電波ノイズを発生させるものの近く。
- ●ビニール系素材の壁や敷物等について
壁や敷物および時計を汚したり、傷めることがあります。

■お手入れ方法

日常の手入れの仕方

- ●わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。
- ●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。
- ●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
- ●殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

液晶パネルについて

⚠ 注　意

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低１５分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

- ●見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- ●温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- ●温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- ●液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。
しばらく放置しますと元に戻ります。

付属品

- ●単４アルカリ乾電池 2個
- ●取扱説明書（本書）１枚
- ●保証書 １枚

製品仕様

- ●精　　度：平均月差±３０秒（気温5℃から35℃で使用した場合）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
- ●表示精度：±１秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
- ●使用温度範囲：－１０℃～＋５０℃　ただし、表示判読可能温度範囲　０℃～＋４０℃
- ●アラーム：電子音、約１分間オートストップ、約５分間スヌーズ
（スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
- ●カレンダー：２０００年１月１日～２０９９年１２月３１日のフルオートカレンダー
月末、うるう年とも修正不要。
- ●温度測定範囲：０℃～＋４０℃（測定範囲内での精度±２℃）
- ●表　　示：日付（月／日、曜日）、午前／午後表示による１２時間制または２４時間制表示
周囲温度（℃）
- ●使用電池：単４アルカリ乾電池（ＪＩＳ規格ＬＲ０３）２個
- ●電池寿命：約１年（アラームを１日３０秒間使用した場合）
- ●電池切れ予告機能：電池交換マークが点滅して、電池交換時期をお知らせします。
- ●電波受信機能：自動受信（６回／日）次回の受信までクオーツの精度で動いています。
手動受信
- ●受信電波、周波数：日本　－ＪＪＹ ４０kHz／６０kHz　アメリカ－WWVB ６０kHz
ドイツ－DCF ７７.５kHz　イギリス－MSF　６０kHz

※ 上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

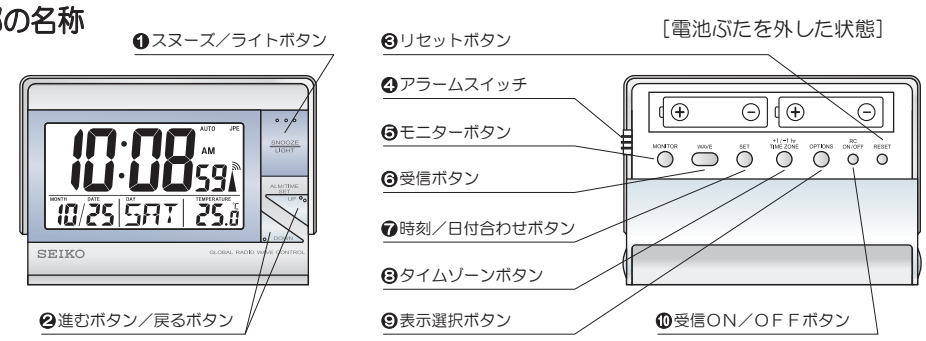
故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
表示が出ない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーや温度の表示が欠けている	・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。 ・静電気等による誤動作。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信が成功していない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・裏面「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
アラームの音が鳴らない	・「アラームスイッチ」がOFFになっている。 ・静電気等による誤動作。	・「アラームスイッチ」をONにしてください。 ・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。

ご使用方法

■各部の名称



❶スヌーズ／ライトボタン (SNOOZE/LIGHT)
- アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が効き、約5分後に再びアラームが鳴ります。
- 押すとライトが点灯し、ボタンを放してから約４秒間点灯します。

❷進むボタン／戻るボタン (UP/DOWN)
- アラーム時刻や現在時刻などを合わせるときに使用します。

❸リセットボタン (RESET)
- 電池交換後は必ず押してください。

❹アラームスイッチ
- アラーム ON／OFF の切り替えができます。

❺モニターボタン (MONITOR)
- 押し続けている間、時刻に関係なくアラームが最長約１分間鳴り続けます。

❻受信ボタン (WAVE)
- 電波の受信をするときに使用します。
- 受信中に押すと送信局を切り替えます。
- 送信局の自動切替／固定を切り替えるときに使用します。（2秒以上押し続けてください。）

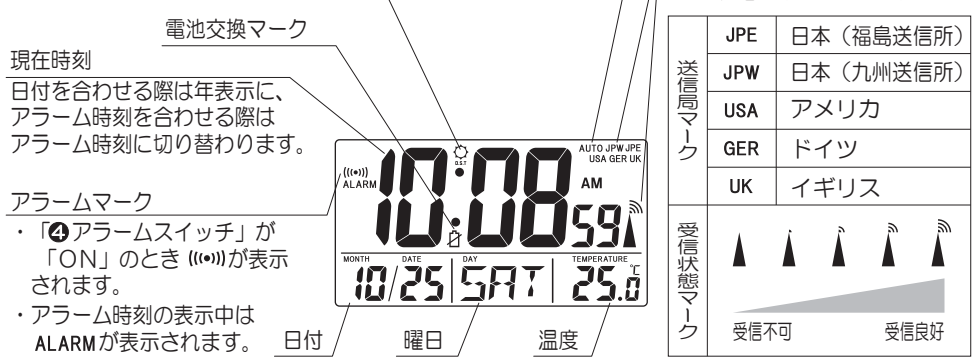
❼時刻／日付合わせボタン (SET)
- 手動で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。（２秒以上押し続けてください。）

❽タイムゾーンボタン (+1/−1 hr TIME ZONE)
- 受信成功後に、受信した時間に対して時間をずらすときに使用します。

❾表示選択ボタン (OPTIONS)
- 日付、曜日、温度の表示方法を選択するときに使用します。

❿受信ON／OFFボタン (RC ON/OFF)
- 受信のON／OFFを切り替えるときに使用します。

■表示

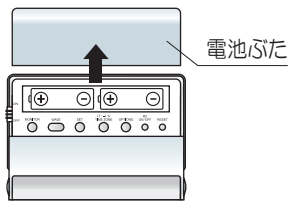


■ご使用方法

ご使用前に表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。

1．電池を入れてください（単４アルカリ乾電池　２個）

裏面の電池ぶたを開けて電池を入れてください。
⊕⊖ をまちがえないように注意してください。



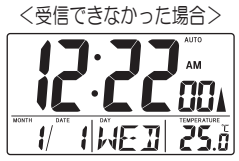
2．リセットボタンを押してください

時刻「１２：００ AM」となって電波の受信を開始し、最長約２０分間で受信を完了します。受信に成功すると受信マーク（ ：受信状態マーク、 JPE など：送信局マーク）が表示され、正しい時刻、日付を表示します。

<受信に成功した場合>

- 受信中は、受信マーク（ ：受信状態マーク、JPEなど：送信局マーク）が信号に応じて変化します。詳しくは上記「■表示」をご覧ください。
- 送信局は JPE → JPW → USA → GER → UK の順に自動的に切り替わります。
- 受信できなかった場合、受信マーク（ ：受信状態マークの一部、JPE など：送信局マーク）は表示しません。このとき時刻、日付の修正は行いません。右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。

<受信できなかった場合>



- 使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。
- 場合により、［時：分］［秒］のみ、正しく時刻を表示することがあります。その後受信に成功すると、［月／日］［曜日］も正しく表示されます。

注）電池交換後は、必ず「❸リセットボタン」を押してください。

3．アラームを鳴らすには

① 「❷進むボタン／戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
- 「❷進むボタン／戻るボタン」を押すと現在時刻がアラーム時刻に切り替わり、アラーム時刻合わせの状態になります。
- 「❷進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
- 約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し［通常表示］に切り替わります。

② 「❹アラームスイッチ」をONにしてください。アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
- アラームマーク ((•)) が表示されます。

4．アラームを止めるには

アラームを止めるには２通りの方法があります。

① 「❹アラームスイッチ」をOFFにして止める
アラームは完全に止まります。
- アラームマーク ((•)) は表示されません。

② 「❶スヌーズ／ライトボタン」を押して止める
アラームが止まり、約５分後に再び鳴り出します。（スヌーズ機能）
- スヌーズ中もアラームマーク ((•)) は表示されます。
- スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。
- アラームは約１分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）
この場合、アラームマーク ((•)) は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

その他の機能

■自動受信について

毎日６回、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波を受信できなかった場合

1．電波を手動で受信させて時刻、日付を合わせてください

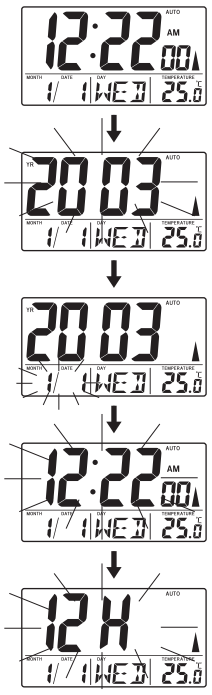
「❻受信ボタン」を押してください。電波の受信を開始します。
- 受信状態については、左記「■表示」をご覧ください。
- うまく受信できない場合は本体の向きや置き場所をかえて、もう一度受信させてください。
ご使用中に受信マーク（ ：受信状態マークの一部、JPE など：送信局マーク）が表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
- 詳しくは裏面（電波クロックについて）をご覧ください。

また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2．手動で時刻、日付を合わせることができます

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせることができます。

① **「❼時刻／日付合わせボタン」を２秒以上押し続けてください。**
② **「❼時刻／日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。**
③ **「❷進むボタン／戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。**
- 「❷進むボタン／戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
- 約４分以上「❷進むボタン／戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に［通常表示］に切り替わります。時刻や日付は［通常表示］に切り替わる直前の表示です。



［通常表示］
普段はこの表示でお使いください。

［年合わせ表示］
「❷進むボタン／戻るボタン」で年を合わせてください。
年は２０００年～２０９９年まで合わせられます。
曜日は自動的に合わせます。

［月／日 合わせ表示］
「❷進むボタン／戻るボタン」で日付を合わせてください。
曜日は自動的に合わせます。

［時刻 合わせ表示］
「❷進むボタン／戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「❷進むボタン／戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示はリセットされます。

［１２／２４時間制選択表示］
「❷進むボタン／戻るボタン」で１２時間制または２４時間制を選んでください。

④　１２/２４時間制選択が終了しましたら、「❼時刻／日付合わせボタン」を押して［通常表示］に切り替えてください。

■試し鳴らしについて

「❺モニターボタン」を押し続けている間、時刻に関係なくアラームが最長約１分間鳴り続けます

■ライトについて

「❶スヌーズ／ライトボタン」を押すとライトが点灯し、ボタンを放してから約４秒間点灯します

■電池切れ予告機能について

この時計には電池切れ予告機能がついています。
電池の残量が少なくなると、電池交換マーク が点滅し、電池交換時期がきたことをお知らせします。新しい電池に交換してください。

■表示方法の選択について

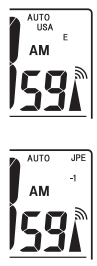
「❾表示選択ボタン」と「❷進むボタン／戻るボタン」で、温度、日付、曜日の表示方法を選択することができます。

① 「❾表示選択ボタン」を押して選択をしたい表示を点滅させてください。
② 「❷進むボタン／戻るボタン」を押して、表示方法を選択してください。
- 温度：単位を以下の２種類から選べます。
℃：摂氏　　℉：華氏
- 日付：順番を、月／日 と 日／月 から選べます。
- 曜日：表示を以下の５種類から選べます。
EN：英語　DEU：ドイツ語　FRA：フランス語　ITA：イタリア語　ESP：スペイン語

③ 選択が終了しましたら、「❾表示選択ボタン」を押して点滅を解除してください。

■タイムゾーンについて

「❽タイムゾーンボタン」を押すと、標準時に対して時間をずらしてお使いになることができます。
ただし手動で時刻を合わせた場合は操作できません。
- USAの電波を受信しているとき、タイムゾーンを以下の６種類から選択できます。
E：Eastern（+2）　C：Central（+1）　M：Mountain（0）
P：Pacific（−1）　AK：Alaska（−2）　HI：Hawaii（−3）
- USA以外の電波を受信しているとき、標準時に対して1時間進ませる、または遅らせることができます。例えば、日本の電波を受信して台湾で使用する場合（１時間遅らせる）などに便利です。　　+1：１時間進ませる　　-1：１時間遅らせる



■送信局の選択について

この時計は、電波の送信局を固定することができます。
- リセット後（初期設定）は、自動切替の設定になっています。（ AUTO が表示）
- 自動切替機能の解除は以下の手順で手順で行ってください。

① 「❻受信ボタン」を“ピッ”と音が鳴るまで（約２秒）押し続けてください。
② 「❷進む／戻るボタン」を押して AUTO → JPW JPE / USA GER UK に切り替えてください。
③ 再度「❻受信ボタン」を押して、［通常表示］に切り替えてください。JPW JPE / USA GER UK 表示が消えます。
④ 「❻受信ボタン」を押すたびに送信局を JPE → JPW → USA → GER → UK の順に選択ができます。
選択した送信局の電波のみを受信します。
- 自動切替の設定に戻すには、上記①～③の手順で JPW JPE / USA GER UK → AUTO に切り替えてください。

■受信を止めるには

この時計には受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。）

① 「❿受信ON／OFFボタン」を“ピッ”と確認音が鳴り、受信マーク（ ：受信状態マーク、JPE など：送信局マーク）が消えるまで（約２秒）押し続けてください。
② 上記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。
- この機能を設定した場合、手動受信もできません。
- この機能を解除するには、「❿受信ON／OFFボタン」を“ピッ”と確認音が鳴るまで（約２秒）押し続けてください。

■ご注意

- この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。「❸リセットボタン」を押してください。
- 「❸リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
- 電池交換後は、必ず「❸リセットボタン」を押してください。